

# 会議録

## ●会議の名称

令和元年度 深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会 会議

## ●開催日時

令和元年 8月8日（木）17時28分開会～20時34分閉会

## ●場所

深川市役所 3階大会議室、3階移住相談室、2階応接室

## ●議題

1. 開会（17：28 開始）
2. 委嘱状交付（17：30～17：39）
3. 市長あいさつ（17：40～17：46）
4. 議事
  - （1）会長及び副会長の選任について（17：46～17：56）
  - （2）第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び人口ビジョン策定の方向性について  
(説明等 17：57～18：08)
  - （3）深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略平成30年度実績評価と第1期のまとめについて  
(説明等 18：09～18：20、各班評価 18：28～20：16、講評 20：24～20：33)
  - （4）その他
5. 閉会（20：34 終了）

## ●出席委員：20名、欠席委員：5名

オブザーバー：北海道空知総合振興局地域創生部 名苗拓央部長

市関係者：山下市長、所管説明員 29人、事務局 4名（企画財政課企画係）

## ●会議資料

- ・議案
- ・委員名簿及び実績評価 班編成表
- ・深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会設置要綱
- ・【資料1】まち・ひと・しごと創生基本方針 2019（概要）
- ・【資料2】第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略&人口ビジョン策定検討スケジュール(案)
- ・【資料3】深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略平成30年度実績評価について
- ・【平成30年度実績評価一覧及び評価シート】
- ・【深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略、人口ビジョン】

## ●会議の概要（発言要旨等）

#### 4. 議事

##### (1) 会長及び副会長の選任について

寺下委員より事務局の提案を求める発言があり、事務局より会長に遠藤委員、副会長に田中委員にお願いしたい旨発言した結果、拍手で承認となった。正副会長の挨拶は省略。

##### (2) 第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び人口ビジョン策定の方向性について

～方向性について事務局説明

～承認

##### <質疑応答>

###### ・佐藤委員からの意見

事務局が提案しているスケジュールでは、第2回目の推進協議会は年明けに予定されている。協議会として、年内に会議を開き協議をしなくてもいいのだろうか。

###### ・事務局

国の総合戦略と長期ビジョンが12月下旬に公表される見込みであり、それらを勘案し次期地方版総合戦略を策定するよう国が示す基本方針2019ではなっている。第2期に向けた改訂スケジュールから考えても非常にタイトなものとなるため、年内に協議会を開催しても示せる資料が出来上がっていないことから、現段階で協議会を開催する考えはない。その代り10月から11月にホームページ等で市民などからアイデア募集を行い、戦略に反映できないか検討する。

###### ・事務局

補足説明として、市民などからアイデアを募集する際に推進協議会委員のみなさんにも募集させてもらう予定でいる。

###### ・佐藤委員

了解。

##### (3) 深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略平成30年度実績評価と第1期のまとめについて

～評価方法について山崎説明

～各所管の評価どおりで委員も承認

※4つの班ごとに分かれ評価開始（事務局員の進行でそれぞれ評価を実施）

－20時評価終了－

##### <各班講評>

###### ○基本目標1（事務局説明）

「基本目標1」の事業について、KPIのうち「新規農業従事者数」についてはあくまで新規就農した方の人数を積み上げているものですが、深川の農業を守っていく観点で農業後継者も重要な存在であるため、第2期においては農業後継者を含めたKPIの設定を行ってはどうかとの意見をいただきました。

また、実績評価の実施にあたり、①評価方法が選択式であるためわかりづらい表現となって

いる場合がある、②数値目標やK P I とひも付けされていない事務事業が含まれているため、そのような事務事業は、地方創生にとって有効な事業なのか改めて整理が必要と考えるなど、③評価シートの内容や評価方法そのものに対する意見がありました。

これらについては、第2期に向けて整理が必要と考えるので、いただいた意見を基に見直しを検討して参ります。

#### ○基本目標2（事務局説明）

概ね全ての事業について質問がありましたが、質問については報告を省略します。意見も数点出ましたが、見直すべきとする意見ではなかったため報告を省略します。評価検証後に、次期総合戦略の策定に関して、①数値目標やK P I の目標数値の設定にあたっては、身の丈に合った現実的な数値とすべきではないか。②数値目標やK P I の値は、効果が容易に判定できるよう、分かりやすい値にすべきではないか。（例：合宿について、泊数ではなく人数とすべき）、③事業を多数設けているが、目玉になるものが必要ではないかという意見がありました。

#### ○基本目標3（事務局説明）

「基本目標3」の事業については、「重度心身障がい者及びひとり親家庭等医療費支給事業」「乳幼児健診事業」「放課後児童健全育成事業」について質問があり、担当課の説明により理解をいただいたものです。

数値目標・KPIについては特にありませんでした。

評価についてもいずれも担当課評価と同じで良いとされました。

#### ○基本目標4（事務局説明）

「基本目標4」のK P I については、「介護予防効果率」など、事務事業については、「がん検診」について質問があり、担当課の説明により理解いただきました。

また、基本目標4は評価する事業が非常に多く、時間もかかってしまいましたが、評価については、いずれも担当課評価と同じで良いとされました。

※全体をとおして質問はなし。

## (2) その他

～なし（会議終了）